

育成 あさくち

平成27年5月1日
浅口市青少年育成センター
春号

☆浅口市青少年育成センタースタッフの紹介☆

○浅口市青少年育成センター 所長 小竹 正巳

4月1日から育成センターに勤務することになりました小竹です。センターの職員は2名ですが、「地域」「学校」「行政」「関係機関」の皆様のご協力をいただき、力を何倍にもして、子供達を温かく見守り、時には厳しく注意をしたり、或いは有害な環境から子供達を守っていきたいと思います。皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

○浅口市青少年育成センター 専任指導員 平田 勇

松岡専任指導員の後を受け、勤務させていただく平田です。青少年の健全育成を目的とした職に就くことに、やりがいをもてると同時にプレッシャーを感じていますが、所長と力を合わせ、少しでも市民のお役にたてるように頑張りたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

岡山県の少年非行

岡山県の平成26年中の刑法犯少年数及び校内暴力事件は、前年に比べ減少しましたが、非行率は平成24年以降、連続で全国ワースト1位という状況が続いています。また、刑法犯少年の約半数が中学生で、非行の低年齢化が進んでいるなど、少年非行情勢の深刻さは増しています。

こうした情勢を改善するためには、地域・学校・警察・各種団体等の連携を密にするなど、重層的な防犯ネットワークを確立するとともに、地域社会における連帯感や絆を強化し、社会全体の規範意識向上をめざした「犯罪の起きにくい社会づくり」に努力していく必要があります。

平成27年度玉島少年警察協助手員 表彰



【功労少年警察協助手員警察本部長表彰】(浅口市関係者)

金光 鍋谷 正博 さん

寄島 小川 真広 さん

寄島 中西 美治 さん

受賞おめでとうございます

平成26年中における岡山県の少年非行の概要

1 刑法犯少年

◇刑法犯少年は7.5%減少

刑法犯少年は、犯罪少年1,212人、触法少年479人の計1,691人で、前年に比べ138人(-7.5%)減少しています。

◇少年非行の人口比は8.8人(非行率)

刑法犯少年(10~19歳)の人口比は8.8%で、前年に比べ0.6ポイント低下しています。また全国平均の4.9人に比べ3.9ポイント高くなっています。

◇全刑法犯の35.1%は少年

成人を含めた刑法犯総検挙・補導人員に占める少年の割合は35.1%で、前年に比べ1.4ポイント高くなっています。また、全国平均の22.9%と比較すると12.2ポイント高くなっています。

◇触法少年の補導人員は14.9%増加

触法少年の補導人員は479人で、前年に比べ62人(14.9%)増加しています。

◇刑法犯少年の62.9%は窃盗犯少年

窃盗犯少年は1,063人で、前年に比べ94人(-8.1%)減少しています。また、刑法犯少年に占める割合は62.9%で、前年に比べ0.4%ポイント低くなっています。

◇刑法犯少年の62.5%は初発型非行

初発型非行で検挙・補導された少年は1,057人で、前年に比べ195人(-15.6%)減少したものの、刑法犯少年に占める割合は62.5%と依然として高くなっています。

◇非行の主流は中・高校生

刑法犯少年の学識別では、中学生842人、高校生387人で全体の72.7%を占めています。

2 特別法犯少年

◇特別法犯少年は18.9%増加

特別法犯少年は、犯罪少年87人、触法少年45人で前年に比べ21人増加しています。

◇大麻乱用少年は1人増加

覚せい剤で検挙・補導された少年はいませんでした。大麻乱用で検挙された少年は3人で、前年に比べ1人増加しています。

3 不良行為少年

◇学識別では「高校生」、行為別では「深夜徘徊」が最も多い

不良行為で補導された少年は8,097人で、前年に比べ1,691人(-17.3%)減少しています。学識別では高校生が2,369人(29.3%)で最も多く、中・高校生では全体の55.6%となっています。行為別では深夜徘徊が4,317人(53.3%)で最も多く、次いで喫煙の3,078人(38.0%)となっています。

4 少年の福祉を害する犯罪

◇少年の福祉を害する犯罪

少年の福祉を害する犯行で検挙された人員は107人で前年に比べ18人(-14.4%)減少しています。法令別では、岡山県青少年健全育成条例違反が30人で最も多く、全体の28.0%を占めています。

◇少年の福祉を害する犯罪の被害少年の70.4%は女子

少年の福祉を害する犯罪の被害に遭った少年は98人で、そのうち女子が69人(70.4%)となっています。